

はれやか

2021 No. 23

Autumn

岩藤医療保健福祉グループ

岩藤医療保健福祉グループ
医療法人 知誠会
社会福祉法人 赤磐中央福祉会

理事長 岩藤 知義



温暖化の影響を受けた気候も、このところの冷え込みで、秋を通り過ぎて一気に冬の到来か？と思うほどになりました。急激な温度変化によって、今年の紅葉が期待できると楽しみにしています。以前からこの紙面で、再三、気候変動の恐怖を取り上げて来ましたが、今年のノーベル物理学賞、真鍋淑郎氏の受賞に我が意を得たりと思いました。二酸化炭素濃度の上昇が、地球温暖化に影響するという予測モデルに対する研究が、高く評価されたものです。60年も前から気候変動に興味を持って、好奇心を原動力に研究を続けて来られたと知り大変驚きました。

さて、コロナも発生から2年を迎えようとしています。いま、一時的に感染者数も減少して落ち着きを見せています。急速に減速した理由が問われていますが、はっきりとわかってはいません。この間に総理大臣も三人が対策にあたりました。オリンピック、パラリンピックも批判を浴びながら

も縮小して開催する事ができました。ITやAIの進化に続き、予想通り軍事兵器の脅威が追加されました。今後も政治のかじ取りが重要となるところでしょう。

当院もコロナに対応して、出来ることはやり尽くした感があります。令和2年の7月から発熱外来を設置し、620名を超える患者を診療しました。同時にPCR検査を開始、総数約750件（陽性率8%）を受けました。今年3月には、全自動遺伝子解析装置を導入し、院内で確定診断ができるように備えました。ワクチン接種も、今年5月の高齢者優先接種に始まり、医療・介護職域接種を行いました。以来、地域の皆さんを中心に延べ5700人を超える接種実績となりました。コロナ自宅療養者の観察業務やPCR検査陰性者の入院も扱いましたが、院内感染は一人も起こしませんでした。地域の医療を守る有床診療所の役割を存分に発揮できたと思います。と同時に、日曜日も返上してワクチン接種に協力していただいた、あらゆる職種スタッフに感謝いたします。「チーム岩藤」で地域に貢献する機会が与えられ、更に絆が強くなりました。

今後しばらくは、目、鼻、口の防護で感染者ゼロになることを切に祈っています。インフルエンザ予防接種、コロナワクチン3回目接種も控えています。地域の皆さんに、これからも安心を届けられるよう努める所存です。